

2016年  
第18回  
総会議案書

開催日時：2016年5月22日（日）9：30～11：30

交流会 11：30～14：00

開催場所：元八王子市民センター 調理室

特定非営利活動法人

  
市民ユニットりぼん

## たすけあいワーカーズりぼん設立趣意書

日大人口研究所によれば、14年後、65才以上の人口は、世界で初めて20%を超え、2025年には、65才以上の寝たきりは228万人、痴呆症は321万人と現在の3倍になるそうです。この為、40才代の未就業女性の45%が介護に追われるだろうという分析もありました。2025年に40才代ということは、現在の小学生です。高齢化問題は、まさに私たち自身に、そして子供達にかかってくるのだと言えます。それに核家族化・小家族化が進む中、現代における孤独は、高齢者に限られる現象ではありません。泣きわめく赤ん坊を抱えて、途方にくれたり、病気や悩みによって、辛い思いをし、不安で泣いたりパニックになった経験のある人は多いはずです。家事労働も出産も子育ても親を看取ることも、それらの多くは、女性の手によって支えながら、社会的に正当な評価がされることなく、やれて当然という社会通念によって追い詰められていくのです。

今、私達は、ワーカーズコレクティブという新しい働き方を選び取りました。全員で出資し、働きながら運営し、雇われるのではなく、自主性、自発性に基づいた分担により、働き方もコントロールしていきます。お金を稼ぐ為だけの労働ではなく、働くことを自己表現のひとつとしてとらえ、生命を支える活動に自信と誇りをもって、取り組んでいきたいと思えます。

アビリティクラブたすけあいと共に、今までの行政による福祉施策や民間の福祉サービス産業にはなかった市民主導による地域に開かれたたすけあいのしくみを作っていきます。そして老いても障害を持っても当たり前暮らし続けることのできる街づくりに繋がっていきたく思います。

1993年4月

## NPO 市民ユニットりぼんの目的

市民によるたすけあいの理念に基づき、高齢者・障害者・子育て支援等の活動を行い、自らの生活を主体的に決定する市民自治によるまちづくりと地域福祉の増進に寄与することを目的とする。

## 市民によるたすけあいの理念とは

- ① お互いの尊厳を尊重し、たすけたり、たすけられたりという相互扶助の精神を大切にします
- ② 「どんな状況においても自分のことは自分で決める」という自己決定を尊重します。
- ③ 自分の常識にとらわれず、多様な方法で問題解決を図ります。

## 議事次第

1. 開会
2. 挨拶
3. 資格審査
4. 議長・議事録署名人 選出 及び 書記任命
5. 議事審議
  - 第1号議案 2015年度活動・事業報告及び収支決算の件
    - I. 2015年度活動・事業報告
    - II. 2015年度決算報告
    - III. 2015年度監査報告
  - 第2号議案 2016年度方針案及び事業計画案  
及び収支予算案の件
    - I. 2016年度方針案
    - II. 2016年度活動・事業計画案
    - III. 2016年度収支予算案
  - 第3号議案 理事改選の件
  - 第4号議案 職員代表選出の件
  - 第5号議案 代表理事報酬の件
6. 議長・書記 解任
7. 閉会

# 目 次

## 第 1 号議案

### 2015年度活動・事業報告及び収支決算の件

- 【1】2015年度活動報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
- 【2】2015年度事業報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・
- 【3】2015年度決算報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・別紙
- 【4】2015年度監査報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・別紙

## 第 2 号議案

### 2016年度方針案及び事業計画(案)及び収支予算(案)の件

- 【1】2016年度方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・
- 【2】2016年度活動計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・
- 【3】2016年度事業計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・
- 【4】2016年度予算・・・・・・・・・・・・・・・・・・

## 第 3 号議案 職員代表の件・・・・・・・・・・・・・・・・

## 第 4 号議案 代表理事報酬の件・・・・・・・・・・・・・・・・

・・・・・・・・・・・・・・・・

# 第1号議案 2015年度活動・事業報告、及び収支決算の件

## 1. 2015年度活動報告

◆ 定款に沿った活動を行いました。

### 会員活動

#### 2015年度活動方針の達成度

【地域福祉増進のために、市民によるたすけあいのステージを増やしていきます。会員活動の場及び地域の人たちとの活動の場を増やしていきます】

各々ができる範囲で会員活動に取り組むことができました。

みんなの居場所“かえりぼん”の活動や、いちょうまつりのバザーなどたくさんのボランティアの方々の協力も得られ、地域への広がりがみられました。

#### ① 地域活動

ACTいきいきサークル支援 「それいゆ（リコーダー）」 「サークルKK」 「絵画クラブアトリエ友」 「ほっとスペースでのひら」の4サークルが活動を行いました	
・それいゆ (メンバー5名)	…毎月1回「ひだまりの家」でのリコーダーの練習をしました。ひだまりの家の音楽会での演奏や地域のディサービスの演奏会に参加。メンバー同士の交流、ささやかですが地域への発信ができました。
・サークルKK (メンバー10名)	…2015年12月13日(日)、みんなの居場所かえりぼんにて、市民ユニットりぼんと共催し、家族介護者の会をもちました。日頃は介護で他の人と交流の無い方々が昼食を共にし交流でき、リフレッシュできた、との声が聞かれ、また、公的制度以外に自費サービス等の紹介ができたこと。
・絵画クラブアトリエ友 (メンバー5名)	…第2土曜日の午後「ひだまりの家」で年間10回活動しました。今年も3回目の作品展を開催。毎回楽しみにしてくださる方がいて「かえこすもす」で作品展をすることで地域の人達との交流も出来ました。来年度も作品展を目指して頑張りたいと思います。メンバー全員目標が出来て技術向上にもつながり良かったです。
・ほっとスペースでのひら (メンバー20名)	…H27年度は、子どものやる気を引き出す魔法の質問、思春期の心と体、学校とのつきあい方、傾聴セミナー、花セラピー等、の講演会を企画しました。発達障害を持つ親が受講、実践し心が元気になりました。トータル160名の方が参加されました。

広報 「おはなしりぼん」  「ホームページ更新」	1回発行が出来ました。わかりやすい紙面で法人の様子を紹介することが出来ました。  カフェりぼんの情報や求人を中心に更新できました。 次年度は、法人内の色々な活動をもっと皆さんにアピールしたいと思います。
障害者就労支援	依頼がありませんでした。
出前介護教室	ご利用者家族に通所では車いすの使い方、移乗方法を、訪問ではおむつの使い方をお伝えすることが出来ました。
交流会「結びの会・りぼん」	開催場所の会場の都合などにより開催できませんでした。
被災地等への寄付金活動 (いちょう祭りでのバザー)	天気にも恵まれ大勢の方に来ていただき、11月21日、22日、長房市民センター前河川敷きのわくわく広場で開催されました。土曜日のみの参加の予定でしたが、居場所の資金補助になればと、土曜日曜の2日間参加し、多くのメンバーが関わり交流を深めることができました。売り上げは、例年通り被災地寄付と居場所資金として有効に使わせていただきました。
在宅心身障害者 緊急一時保護登録支援	新規の登録者、制度の利用ともありませんでした。
まちづくり市民運動・ 政策提言	生活クラブ運動グループ八王子地域協議会との連携が取れました。
家族介護者の会	12月13日(日)ご利用者6名メンバー12名の参加のもとみんなの居場所“カフェりぼん”にて開催しました。 今年も芋煮を囲みながら、介護者のご家族や利用者本人と介護にまつわるお話をすることができました。お腹が一杯になったところで、四重奏のコンサートを聞き、穏やかな気持ちになれる一時を過ごすことが出来ました。

## ②法人内活動

ひだまりの家支援： 庭作りボランティア   登録ボランティア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月に1回3～4名で、ひだまりの家の庭の手入れを行いました。1時間かけて、草むしり・枝の剪定・土づくり・花や野菜の苗植え等々・・・窓越しにいる利用者の皆さんから、『いつもありがとう！』『たくさんのお花を咲かせてくれて嬉しい！』の言葉をいただき、楽しく手入れすることができました。</li> <li>・楽器演奏(オカリナ、リコーダー、マンドリン等)をしながら一緒に歌うことや、散歩同行の手伝い、草もち作りのヨモギ採り、壁面制作の下絵描き、傾聴、子供や孫との交流の機会を作る、等等・・・会員メンバーとして、ひだまりの家の利用者の方々と関わることができました。</li> </ul>
--	---

救急救命講習会	1月30日(土)、8名の参加でしたが応急救護研修を行いました。救急隊の指導により心肺蘇生・AEDの使い方・骨折時の応急処置や止血法等、参加者から活発な質問も多くあり、充実した研修を行うことができました。
会員交流会	5月24日(日)2015年度の総会終了後に加多厨のお弁当を食べ、そのあと“はなみずき”グループの楽器演奏を聴きました。一緒に歌を口づさんだり、本格的な演奏を楽しみました。
みんなの参加できる定例会と研修	<p>開催日時は昨年同様、月末の夜間とし15回(臨時2回、臨時総会1回)開催、平均14人の出席でした。今年度は厳しい経営状況のスタートで随時定例会で運営状況をお知らせし、全員で対策を検討できました。</p> <p>研修は担当理事を決め、その理事を中心に開催しました。</p> <p>(内容)5月 ワークス手帳の読み合わせ</p> <p>6月 法人倫理規程・「職員倫理規定」に基づく行動指針 27年度法改正について(訪問関連)</p> <p>7月 個人情報への取り組みの意義・法令順守 27年度法改正について(通所関連)</p> <p>8月 マイナンバーについて</p> <p>9月 感染症及び口腔ケアについて 訪問看護ステーションひばり八島看護師</p> <p>10月 尊厳を支えるケアとは「老衰死～穏やかな最期を迎えるには」のCDを見ながら 27年度法改正について(居宅関連)</p> <p>11月 腰痛予防体操</p> <p>12月 認知症の方へのコミュニケーションの取り方I 南多摩高次脳機能障害支援センターS T江村氏</p> <p>1月 税について</p> <p>2月 認知症の方へのコミュニケーションの取り方II</p> <p>3月、4月 2015年総括と2016年度方針</p>



## 総務・法人事務局

➤ 法人の円滑な運営のため下記の件について取り組みました。

### [労務管理・職員管理]

#### 1、セキュリティ管理・個人情報保護

- ・情報セキュリティ委員会を随時開催しました。
- ・「個人情報保護」について、定例会で資料の配布を行いました。
- ・マイナンバーの提出をお願いしました。

#### 2、安全衛生管理

- ・毎月、衛生委員会を開催しました。
- ・従業員の勤務時間の管理を社労士の指導のもと行いました。
- ・従業員の健康を維持するため、年1回の定期健康診断受診を促進し、9割の職員が受診しました。健診結果を参考に健康状況を各部門管理者とともに把握しました。

#### ・従業員健康状況報告

労災申請	勤務制限必要者	休業必要者	出勤停止者	復職者
0	0	0	4	0

### [法人会員管理]

会員加入 3名 賛助会員 2名

退会 5名

2015年度会員数 41名(3月31日現在)

3、ネットワーク活動を推進し、1名の加入がありました。

### ➤ 会議報告

**定例会** ・月1回月末の夜間(土、日曜日にあたる場合は金曜日に繰り上げ)15回  
長房ふれあい館にて開催

**理事会** ・理事、外理事出席のもと5回開催

**理事運営委員会** ・月1回(臨時4回)計13回開催 \*理事会開催月原則なし

**管理者会議** ・月1回(臨時3回)計12回開催

### ➤ 研修報告

#### ① 総務研修

- ・年末調整研修
- ・決算法人説明会
- ・危機管理研修
- ・独自事業研修

➤ ACTと『少額短期保険情報提供等委託契約』を締結し、情報提供活動を行ないました。

## 2、2015 年度事業報告

### 介護サービスりぼん・ACTたすけあいワーカーズりぼん

#### 1、事業報告

##### ① 2015 年度事業運営方針の達成度

- ・本人の望む在宅生活の理解と支援を行います。

常勤 4 名、曜日固定ヘルパー 1 名、登録ヘルパー 13 名で利用者の状況変化や新規の依頼に対応できました。公的制度では対応できない依頼に関して自費サービス『なんでも隊』や『ACT』ケアで対応。室内の棚の取り付け、ズボンの裾上げ、囲碁の相手などその思いや状況を理解したうえで提供につながった公費でないサービスはご利用者の日常の小さな満足になったと思います。実績の時間数も前年度より 10 時間程度伸びました。

ヘルパーの交代、新規ケア時には研修が行えました。ご利用者の理解を深め支援に入る心構えができたと思います。

- ・本人が安心して介助が受けられるよう、介護技術の獲得を目指します。

ACTからの講師を招き行った介護実技の研修、外部講師を招いてのコミュニケーション技術研修・認知症理解のための研修などを受けることで業務に向かう気持ちが新たになりました。排せつ介助、認知症のご利用者とのコミュニケーションを短時間のケア中に行うケースが増えている現在、日々の業務に活かせました。研修の出席率が 100%でなかったことが課題となりました。

- ・責任ある労働の提供

今年度目標とした時間数を超えてサービス提供することができました。また、平成 28 年 3 月から介護予防・日常生活支援総合事業が開始するにあたり各々がどのように業務に係わり責任を果たしていくのかを考えることができました。結果は、市の動向が定まらない事業もあるためはっきり出たわけではありませんが、今後検討を重ねていく基盤が固まりました。

##### ① 事業実績

事業名	ケア目標時間数（年）	2015 年度実績	従業者の人数
介護保険訪問介護	3600 時間	4008 時間	常 勤 4 名
介護保険予防訪問介護	720 時間	724 時間	
障害福祉サービス	2520 時間	2394 時間	登録ヘルパー 14 名
移動支援	120 時間	194 時間	
ACT 提携	840 時間	627 時間	
なんでも隊		303 時間	
合計	7800 時間	8250 時間	

##### ② 評価と課題

目標	評価	課題	対策
責任あるサービスを行います。	事故・ひやりはっと報告を毎月配布した。業務ニュースに	事例検討し解決方法を共有できる場が持てなかった。	定例会で時間をとることは困難と考えられるため、場と空間の確保を行う。具体的には

	<p>も月によっては事例の配信ができた。</p> <p>事務所の連絡ノートを活用し報告伝達を速やかに行えた</p> <p>業務分担を進められたが、部分的な作業にとどまった。</p> <p>面談は行えなかったが、職員個々の状況変化に対応できた。</p> <p>人員が不足しているチームを知らせることができた。が、定期的なケア調整の公表はおこないきれなかった。</p> <p>常勤、曜日固定で開催しているホームヘルプミーティングが定期的に行えなかった。</p>	<p>連続して最後まで行うには業務全体の理解が必要。</p> <p>ケアを増やせるというメンバーが多くはなかった。</p> <p>時間を合わせ、書面での報告は困難だったが、適時情報共有ははかれた。定期的開催を念頭におきたい。</p>	<p>月に1度ひだまりの家を使わせてもらいメンバーが気軽に立ち寄って話ができる機会を設ける。</p> <p>業務全体の流れをミーティングで確認していく。</p> <p>制度や業務の理解を深めてもらえる機会を作る。</p> <p>状況を全体で把握していくためにも継続する。</p> <p>日時をスケジュールと共に組む。</p>
<p>職員の介護技術、及び問題意識の向上を目指します。</p>	<p>年間計画に基づく研修を推進できたが、全員の参加には至らなかった。</p>	<p>全員参加の学習会</p>	<p>メンバーが気軽に立ち寄って話ができる機会を設けることで問題意識の向上につながればと考える。</p>
<p>利用者のニーズを的確に介護計画に反映し、目標達成を</p>	<p>介護計画をチームで作成することはできなかったが、状</p>	<p>チーム会議の開催</p>	

目指します。	況変化への対応は適時行えた。また、時間や場所を工夫して開催できたが、多くはなかった。		
課題については「サービス担当者会議」等で共有し、解決に努めます。	サービス担当者会議への出席、ケアマネへの報告を適時行うことができた。		
当事業所において提供困難なサービスについては他団体を紹介する。そのためにも地域のネットワークを構築する。	紹介することができた。		
個人情報保護に取り組みます。	法人の学習会で取り扱い、取り組むことができた。		

## 研修報告について

### ① 必須研修

- 1、コミュニケーションⅠ・・・・・・・・・・ 7名 (出席率 38%)
- 2、コミュニケーションⅡ・・・・・・・・・・ 11名 (出席率 61%)
- 3、介護技術研修・・・・・・・・・・・・・・ 14名 (出席率 78%)

### ② 事前研修について

- ・適時行うことができた。

### ③ 学習会について

法人共通で「個人情報の取り組み、法令順守」「マイナンバーについて」「食中毒・感染症について」「尊厳を考えるケアとは」「27年度法改正について」「腰痛予防体操」「認知症の方とのコミュニケーションのとり方パートⅠ、パートⅡ」「税についての話」の学習会を行えた。「認知症の方とのコミュニケーションのとり方パートⅠ、パートⅡ」「腰痛予防体操」「食中毒・感染症について」は外部講師を招き研修を受け、各自スキルアップにつなげられた。ひだまりの家で行われた「救命救急講習」にも2名参加できた。

事故等報告

区分	件数	内容と対応	対策
苦情	件		
事故	破損 7件	モップの柄、蛇口の一部がとれた、ガラスのポット、茶碗、布団ばさみ、枕、S字フック	周囲や状況の確認を落ちついて行う。
	ケア忘れ 3件	謝罪。開始時間、曜日の変更等利用者とは相談し対応できるケアは提供した。	ケアの事前チェック、予定変更に関してメール、FAX等で連絡・確認する。状況変化は処理の流れが終了するまでを連絡ノートに記載する。
	ケアミス（生活） 8件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務所で預かっている利用者宅の鍵を持参し忘れた。</li> <li>・食事介助で食事用エプロンをかけ忘れた。</li> <li>・食器の漂白を行い始末したか不安になり再度訪問した</li> <li>・デイの準備の確認を忘れた。</li> <li>・屋外に出さないようにしている猫がでてしまった。</li> <li>・買い物物の清算を間違えた。</li> <li>・魚グリルを使い、火を消し忘れた</li> <li>・調理ケア中、自分の指を切ってしまった。</li> </ul>	確認を怠らない。
	ケアミス（身体） 3件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・服薬間違い</li> <li>・軟膏の塗布について古い情報での対応をした。</li> <li>・足浴時、バケツの縁に足が当たっていることに気付かず脛が赤くなった。</li> </ul>	身体介護技術の習得。ご本人の身体状況の把握を怠らない。
	遅刻・時間間違い 3件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・向かう途中踏切が開かなかった。</li> <li>・時間を間違えていて遅刻した。</li> <li>・交代のケアで訪問時間を間違えた。</li> </ul>	ケアの事前チェックを怠らない。イレギュラーなケアは事務所からの注意喚起を行う。
物品持ち帰り 1件	ケア中に預かった利用者宅の鍵を持ち帰った。	最終確認の徹底。	

	私物忘れ 7件	車の鍵、レインコート、ペットボトル、 集金した袋、記入した記録簿とボールペ ン、タオル、ペンケース	謝罪し、サ責が取りに訪問、また は、次回ケア時受け取った。 最終確認の徹底。
	手配ミス1件	・ヘルパーに状況変化を伝え忘れ服薬間 違いに繋がった。	変化があったらすぐにチームに連 絡する。
ひや り・ はっ と	1件	利用者宅に行こうとしてスケジュールを 確認したらケアがないことに気付いた。	

## ケアプランサービスりぼん

### 1、事業報告

#### ①2015年度方針達成度

【介護保険制度改正内容の理解を深めると共に介護保険制度の理念を忘れることなく多様化する利用者のニーズに応じていきます。】

- ・若年の障害者、認知症、精神疾患、家族状況等の利用者それぞれの状況、発信を理解、整理し支援することが出来た

#### ②事業実績

事業名	事業内容	目標件数	2015年度実績	従業員の人数
居宅介護支援	援助計画作成	介 1200 予 390	介 975 予 237	常勤 3 非常勤 1
	認定調査	360 件	452 件	常勤 2 非常勤 1

### 2、目標に対しての評価

①従業員の精神的、身体的健康を守りつつ、安定した事業運営を目指します。

- ・フレックス制労働を活用し、目標件数が達成できる様努力出来ました。

②収入の安定を図ります

- ・入院、入所等が続き利用者減少する時期もあったが、認定調査件数の増大や地域包括支援センターに営業することで大きな減少にはなりませんでした。

③サービスの質向上と選ばれる事業所を目指します。

- ・事業所内ミーティングで毎月事例検討行い自己プランを客観的に振り返ることが出来ました。
- ・利用者の要望を聞き取り、情報提供行い自己決定の支援、達成のためプラン作成に努めることが出来ました。
- ・困難事例に対して地域包括支援センターに相談行い積極的に助言を求め解決に当たりました。
- ・利用者アンケートを実施しました。

介護保険制度、新情報等について適時情報提供してほしい

個人情報守秘義務については利用者は守られているか確認できず信じるしかない等の意見が出された

上記の意見に対して「法人個人情報保護方針」の遵守、情報について適時提供できる様に業務会議内で共有し利用者の要望に答えていきます。

3、介護医療推進会議年4回出席し利用者、介護支援専門員の立場から意見交換を行いました。

### 4、研修報告

- ・八王子市新人ケアマネ向け連続研修
- ・認定調査員研修
- ・コミュニケーションスキルアップ研修
- ・感染症研修
- ・個人情報保護 尊厳 職員倫理研修

5、苦情事故報告

区分	件数	内容と対策
苦情	2件	<p>①特殊寝台点検に福祉業者と同行した際、ケアマネが「よく見てもらいましょう」と声掛け行なったことで本人は「病状が重い」と受け取り、「傷ついた」と家族より指摘あった</p> <p>対策：            利用者の性格、家族状況と考慮し言葉掛けに注意する</p> <p>②約束した訪問時間と違う時間に間違っ訪問した</p> <p>③家族と取り決めた連絡先に連絡して来た</p> <p>上記の理由でケアマネ交替希望があった</p> <p>対策：            ケアマネの交替を行い新ケアマネと管理者と謝罪の為訪問した            忙しい主介護者の状況を理解し約束したことは必ず守る</p>
事故	0件	



# ひだまりの家

## 1、事業報告

### ① 事業実績

事業名	利用者目標延べ人数	2015年度実績	従業員の人数
介護保険 予防通所介護事業	144 件	153 件	常勤 3名
通所介護事業 (自費、含む)	2315 件	2298 件	非常勤 12名

### ② 2015年度方針の達成度

\*小規模を活かし、家庭的な施設運営ができました。

\*利用者の在宅生活が継続できるよう、日中の生活を支援することができました。

#### 1. 従業員の心身の健康を守ります

- ・職員の心身の健康を維持することができました。
- ・常勤の勤務時間を週 40 時間にしましたが、サービス提供時間外の仕事内容が多くあり過度な労働が多々ありました。

#### 2. 安定した事業運営を目指します

- ・居宅介護支援事業所等に空き情報やパンフレットを持参し、営業活動に力を入れることができ、新規の利用につながりました。目標件数を概ね達成することが出来ました。

#### 3. 利用者及び家族の意向を反映し、個別ニーズの把握をします

- ・ケアマネージャーに日々の変化や、月の報告をすることができ、状況変化に対しての早めの対応をすることができました。
- ・アンケートや文化祭(交流会)を通して、利用者及び家族の満足度や要望等の確認をすることができ、一人一人のサービス向上に反映することができました。
- ・近隣の外出を企画し、心身の活性化を図ることができました。
- ・日々のプログラムの充実を図り、皆で喜びを共有できる場が沢山できました。
- ・家族介護者支援のための延長利用は、利用実態が 3 件ありました。

#### 4. 職員間の連携を図り、サービスの向上に努めます

- ・月 1 回の職員会議や日々の連絡票を通じてスタッフ間での連携を図ることができました。事故や、ひやりはっとの検討及び対策を職員間で共有することができ、再発防止に努めることができました。
- ・サービス提供時間内のスタッフ不足を感じる事が多くありましたが、事故防止対策や工夫を図り、対応することができました。
- ・研修の積極的参加は、日程等が合わないとの理由で、研修に参加できないスタッフもいた為、積極的参加とは言えませんでした。
- ・職種別研修の報告を概ね、共有することができました。

#### 5. 栄養管理を行います

- ・管理栄養士によるバランスのとれた献立を提供することができました。
- ・季節の素材を取り入れ、個別対応及び病態による対応を行うことができました。
- ・誕生会や行事時の特別メニューを取り入れることができました。

6. 安全衛生管理を行います
  - ・手洗い・うがいを徹底し、感染予防に努めることができました。
  - ・食品等の衛生管理が行えました。
  - ・検便は、調理職員は年4回、他職員は年1回実施することができました。
7. 災害対策を行います
  - ・6月に地震、11月に火災を想定した訓練を行うことができました。
8. 地域社会との連携を行います
  - ・地域ボランティアの受け入れが、継続ができました。(月平均40名)
  - ・小、中学生の職場体験の受け入れができました。  
(五小・四中・七中・打越中・柵田中・南多摩中 合計15名)
  - ・教職員実習生の受け入れができました。(杏林大学生 合計6名)
  - ・他団体(福祉作業所・放課後デイ)との交流が3回できました。
  - ・文化祭(交流会)等で、町会長や民生員や近隣の方々との交流ができました。
  - ・ACT 通所介護事業所連絡会議に2回出席できました。
  - ・地域の介護事業所と勉強会を2回行い、連携を図ることができました。
9. 安全な施設管理に努めます
  - ・年2回の大掃除を実施することができました。
  - ・日々の掃除を徹底することはできましたが、休憩室や倉庫(活動材料等の管理場所)の片付けをする時間がなかなかとれませんでした。

### ③ 苦情事故等の報告

区分	件数	内容と対応	対策
苦情	0件		
事故	確認事項 5件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・別の方の靴を履かせて帰した：2件</li> <li>・別の方の上着を着せて帰した：2件</li> <li>・昼食でスープの味をつけずに、提供した。</li> </ul>	忙しい時間帯でも確認を徹底する
	対応関係 1件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者同士のやり取りで、高額な膝のサポーターを勧めていた事実を知らずにいた。担当ケアマネからの報告で知る。</li> </ul>	状態把握、観察をしっかり行う
	車両関係 3件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車の車検日が過ぎていたことに気づき、慌てて車検を通す</li> <li>・車で利用者を送り時、信号が赤で停車したところ、後ろから50cc バイクが追突する。利用者2名、介助員1名乗車中だったが、損傷なし。相手方の保険で修理完了する。</li> <li>・車で利用者を送り終えた時、右折時に電柱を支えるワイヤーに接触する。</li> </ul>	予定していたことと違う状況でも慌てない

## みんなの居場所カフェりぼん

### 2015 年度総括

月曜日～金曜日 10 時～16 時の開所、水・金のランチの提供

・利用者総数 1,812 人(1 ヶ月平均 151 人) 見学者 75 名

### 【定期企画】

	大人の布遊び	参加者数	ワンコインコンサート	参加者数
4 月		—	ヴァイオリンコンサート	30
5 月		13	マジックショー	16
6 月		20	落語「桂右團治」	26
7 月		18	染谷知子さん歌う会	52
8 月		18	フラダンス	12
9 月		19	人形劇「お月見」	16
10 月		22	アリッシュハーブ演奏会	39
11 月		20	フルート演奏会盲導犬アーサーとともに	29
12 月		18	JOY アンサンブルの弦楽四重奏	49
1 月		17	落語「桂右團治」	34
2 月		19		—
3 月		18	ハーモニカ演奏会	36

### 【運営】

- ・ボランティアのスタッフが入り毎日の開所が支えられた。
- ・庭の管理で、草刈り機を使って 3 回、夏場は随時、多くのボランティアの方にしてもらった。
- ・居場所運営会議を 4 回開催した。
- ・八王子社会福祉協議会の助成金 20 万円でエアコンをもう 1 台設置、また地域ささえあい助成事業の助成金 9 万円で毎月の企画の運営費に充てることができた。

### 【利用・その他】

- ・元八王子市市民センター利用の方、散歩途中の方、などロコミで広がりを見せた。
- ・“大人の布遊び” は取り組む作品、講師のご指導など毎回好評だった。
- ・ワンコインコンサートはプロアマを交え出演者の方々の協力のもと、回を増すごとに楽しみにされている方が増えていった。
- ・子安町の認知症カフェ“わたぼうし”との交流が出来た。

3. 2015年度收支報告

4. 2015年度監查報告

## 第2号議案 2016年度方針及び事業計画及び収支予算の件(案)

### 1. 2016年度方針(案)

#### ○ 経営理念

自分自身が利用したいと思えるサービス事業者を目指します。

- ・ 経営基盤を確立し安定した経営を目指します。
- ・ 利用者の意思や人格を尊重し、利用者の立場に立ったサービスを提供します。
- ・ 利用者や家族が安心して生活できるよう支援します。
- ・ 地域住民又はその自発的な活動等との連携及び協力を行うなど、地域との交流を推進し、地域福祉サービスの拠点を目指します。

#### ■ 安定した経営基盤の確立と、地域に根ざした法人を目指します。

2025年問題を見据え、介護の社会化を目的に介護保険制度が施行されたものの利用者の増加、サービス利用の増加による財源不足が問題となり、制度改正ごとに理念としてきた「介護の社会化」は同居家族の生活援助をなくし、所得による負担増等、高齢者にとって使いづらい制度となりつつあります。

総合事業では介護予防、軽度者のサービスについて社会全体で、又、地域で支えていくものとなりましたが、それを支えていく担い手、社会資源不足が懸念されています。

私達は、かねてより介護保険制度だけ、担当利用者だけの枠にとらわれず、地域に根ざした活動に取り組んで来ました。

訪問介護部門で行なっている介護初心者のための出前介護支援、通所介護部門では地域のサークル活動の為施設を開放、居宅部門では家族介護者が日頃の悩みを吐き出す場としての介護者の会を開催し、活動しました。

今年度は、みんなの居場所を活用し、定年退職した男性や、幅広い年代の方々の知恵や特技を生かして介護保険だけでは担えない、私達だから出来るたすけあいの活動に取り組んでいきます。そして、更に充実した、たすけたり、たすけられたりの関係を広めていく為耳を澄まし、眼を大きく見開き、五感を研ぎ澄まして、地域のニーズを拾い集めていきます。

## ■サービス提供体制の充実を図ります

- 「チーム会議」「職員会議」「部門ミーティング」等を十分に機能させ職員間のコミュニケーションを図ることで、働きやすくやりがいのある職場を目指します。
- 法人各事業所共通の「ケアサービスの質の向上」をめざし関連部門と連携をとりながら、スピーディな決定と実行をめざします。
- 各事業所の経営体制を安定させるため、理事会および理事運営会議、管理者会議において各事業所の経営状況を把握、分析を行い経営改革を迅速に行います。
- 苦情及び事故等の処理を円滑かつ迅速に行うために苦情事故等検討委員会を開催し、再発防止することでケアサービスの質の向上を目指します。
- 法人全体ですべての職種に共通した研修を実施します。
- 個人情報保護に取り組み、法人全体で強化します。
- 介護サービス情報の開示を実施します。
- 各種研修への積極的参加により職種ごとのスキルアップを図り職員の意識改革と資質の向上をめざします。
- 職員の健康に配慮し、より良いサービスの提供に努めます。

## ■誰もが集える場所、気軽に立ち寄れる場所づくりを目指します。

- まちのニーズをひろいます。
- 介護保険サービス、フォーマルなサービスでは解決出来ないサービスを作ります。
- 会員数を増やしていきます。
- スタッフも地域の人も誰もが楽しい場所を作ります。
- 地域の顔の見える関係を作ったすけあいの輪をひろげていきます。

## ■「認知症を知り 地域をつくる」キャンペーンに賛同し、「認知症になっても安心して暮らせる町づくり」のための活動を推進します。

- 地域包括支援センター等と連携し、認知症になっても安心して暮らせる町づくりに取り組みます。

## 2. 2016 年度活動計画 (案)

### 会員活動

地域福祉増進のために、市民によるたすけあいのステージを増やしていきます。会員活動の場及び地域の人たちとの活動の場を増やしていきます。

#### ① 地域活動

- ◇ ACT のつどいをみんなの居場所カヱりぼんで開催し、地域に参加を呼びかけ会員を増やします。
- ◇ 「ACT いきいきサークル」の活動を推進します。
- ◇ 地域の交流の場として、ひだまりの家やみんなの居場所「カヱりぼん」を提供していきます。
- ◇ 障害者就労体験の場を提供します。
- ◇ 広報活動を推進します。
  - ◎ 広報紙「おなはしりぼん」の発行  
より多くの方に読みやすく、より興味を持って読んで頂ける様な紙面づくりを心がけます
  - ◎ ホームページで広く法人の活動を広報していきます。
- ◇ 出前介護講習  
在宅介護初心者の自宅に出向いて介護方法等の講習を行い介護者を支援していきます。
- ◇ 在宅心身障害者緊急一時保護制度が利用できるよう会員の介護人登録推進します。但し「コーディネート」は行いません。
- ◇ 交流会「結びの会・りぼん」  
りぼん、ACT 会員、利用者、職員はもとより広く地域にむけての交流会を実施します。
- ◇ 介護者支援で居宅主催の「家族介護者の会」を年 1 回 1 日行います。
- ◇ 被災地等への寄付金活動  
いちよう祭りを活用して、バザー等の売上金の一部を寄付する活動を行います。
- ◇ 市民運動・政策提言  
地域で暮らす生活者として、まちづくりや環境・食の安全等を定例会等で話し合い、生活クラブ運動グループ地域協議会などと連携して課題に取り組んでいきます。
- ◇ 他団体と共に地域福祉の向上及びまちづくりのための政策提言活動を行います。
- ◇ 地域包括支援センター等と連携し、「認知症を知り、地域をつくる 10 ケ年計画」を推進します。

#### ② 法人内活動

- ◇ ひだまりの家支援を行います。
  - ◎ 庭作りボランティア
  - ◎ 登録ボランティア

- ◇ 救急救命講習を実施します。
- ◇ 会員交流会を実施します。
- ◇ みんなが参加できる定例会を目指します

## 総務・法人事務局

- 法人の円滑な労務管理、財務管理、法人会員管理、職員管理を目指します。
- 法人の円滑な運営の充実を目指します。
  - 1、個人情報保護に取り組めます。
    - ・ 情報セキュリティ委員会を随時開催します。
    - ・ 職員向けの研修を各部門管理者と共に開催します。
  - 2、安全衛生管理に努めます。
    - ・ 毎月衛生委員会を開催し、精神的、身体的健康を守るよう検討していきます。
    - ・ 従業員の勤務時間の管理を徹底します。
    - ・ 従業員の健康を維持するために定期健康診断受診を促進します。
  - 3、ネットワーク活動を推進します。
  - 4、法人主催の研修を実施します。

## 非常時経済支援事業（アビリティ共済）

ACT と『少額短期保険情報提供等委託契約』を結び、共済および少額短期保険事業に関する情報提供をします。



### 3. 2016 年度事業計画案

介護サービスりぼん・ACTたすけあいワーカーズりぼん

事業内容：介護保険予防給付事業、介護保険介護給付事業、障害福祉サービス、八王子市移動支援事業  
自立支援事業（ACT 提携事業、なんでも隊）、介護予防・日常生活支援総合事業

- 1、月次目標時間数 介護保険・320 時間／介護保険予防訪問介護・総合事業・61 時間／  
障害者福祉サービス・190 時間／移動支援・10 時間 /ACT・70 時間
- 2、従業員数/サービス提供責任者 2 名,常勤ヘルパー 2 名,曜日固定ヘルパー 1 名,登録 13 名
- 3、事業運営方針

- ・本人の望む在宅生活の理解と支援
- ・本人が安心して介助を受けられるような技術の獲得
- ・責任ある労働の提供

(1) 責任あるサービスを行います

①危機管理、危険管理、課題解決

- ・事故報告、ひやりはっと報告の推進をはかり、解決方法を全員で共有する。そのため、メンバーで集まれる場と時間を確保します。
- ・ケア予定の事前チェックを行い、携帯メール等を利用した連絡体制を徹底していく。イレギュラーなケアについては注意喚起の連絡を行う。
- ・仕事カードなど情報の更新を適時速やかに行う。
- ・職員間の相談、連絡が円滑に進むよう職員の事務所在籍時間を確保する。

②職員の働きやすい環境整備

- ・新規ケア開始時、メンバー交替時に研修を行う（事前研修の実施）
- ・業務の分担をより明確化する
- ・個人面談の実施

③人員の確保

- ・ケア調整を公表し、メンバーに事業所で受けているケアの状況を把握してもらう。
- ・曜日固定ヘルパーの働き方をスキルアップの一つとしてとらえ継続する。

④介護予防・日常生活支援総合事業の開始

- ・メンバー全体で事業の理解を深め対応していく。

(2) 職員の介護技術及び問題意識向上を目指します

- ・事業所の年間研修計画を作成し外部研修受講も推進していく。
- ・必須研修のテーマについては複数回取り組み、技術、知識の定着を図る
- ・職員スキルアップのための情報提供、サポートを行う

(3) 利用者のニーズを適確に介護計画に反映し、目標達成を目指します

- ・状況変化、ケア目標・介護計画の共有が出来るようなチーム会議を開催する

(4) 課題について「サービス担当者会議」等で共有し、解決に努めます

- ・必要があれば当事業所から要請する
- ・利用者の状況を書面にて毎月ケアマネに報告し、変化があった場合は適時報告する。

(5) 当事業所において、提供困難なサービスについては他団体を紹介します。

- ・公共機関や、インターネットを活用し地域のネットワークを構築する

(6) 個人情報保護に取り組みます

- ・法人の個人情報保護方針にそって取り組みます。

## ケアプランサービスりぼん

1、事業内容：介護保険居宅支援事業（介護プラン 日常生活支援総合事業 認定調査）

2、目標担当件数 83 件/月（介護プラン） 管理者 25 件 常勤 A 31 件 常勤 B 22 件  
非常勤 5 件

22 件/月（総合事業） 管理者 8 件 常勤 A 8 件 常勤 B 6 件

30 件/月（認定調査）

3、従業員：4 名

4、事業所運営方針

- ・日常生活支援総合事業がスタートしました。それぞれの利用者にあった活用できる情報を提供し多様化したニーズに応えていきます。
  - （1）従業員の精神的、身体的健康を守りつつ、安定した事業運営を目指します。
  - ・所定労働時間を自己裁量で働けるようフレックス制を採用し、無理のない担当件数とし報酬の減額とする
  - ・介護プラン月平均 1,035,714 円 予防プラン 126,000 円 認定調査 131,130 円の収入を維持し、努力工夫を図り更なる経費削減に取り組みます。
  - ・入院、入所等の状況により収入の変動があるが経営安定の為、営業活動は常時行なっていくきます。
  - （2）サービスの質向上と選ばれる事業所を目指します。
  - ・介護支援専門員も本分である「利用者を守る」ことが出来る様、自己プランを客観的に振り返ることが出来る環境を事業所内に作ります。
  - ・引き続き、介護支援専門員の新規採用を行なっていきます。
  - ・適時、適切な情報提供を行い利用者が自己決定ができる様支援します。
  - ・八王子市介護支援専門員連絡協議会と連携し、利用者が望む生活の確保と尊厳の尊重を図るべく保険者へ提言していきます。
  - ・事故、苦情、ひやりはっと例を事業所内で共有し再発を防ぎます。
  - ・利用者アンケート、自己評価を実施し質の向上に努めます。
  - ・利用者の出来ること、出来ていることの評価を行い持てる能力を生かした自立支援マネジメントに努め希望を持った楽しい生活が出来る様支援します。
  - ・地域包括支援センターと連携し積極的に助言を受けます。
  - （3）地域社会活動
  - ・介護者の精神的、身体的支援の場として「介護者の会」を法人と協働で年 1 回開催します。
  - （4）職員の処遇
  - ・年 1 回の健康診断の実施、所定労働時間の遵守を徹底し健康に留意する
  - ・月 1 回、適時 10 分間業務会議を実施し、情報の共有化を図ります。
  - ・研修の参加を推進します。
- 現任研修 認定調査研修 予防マネジメント研修 八王子市主催研修  
八王子市介護支援専門員連絡協議会主催研修 外部研修 法人内研修

## ひだまりの家

1. 事業内容：地域密着型通所介護事業・介護予防通所介護事業  
介護予防日常生活支援総合事業
  2. 営業日：月・火・水・木・金
  3. 利用定員：14名/日
  4. 目標利用者数：11名/日
  5. 従業員数：常勤3名  
非常勤9名（介護：3名 看護：2名 調理：2名 ドライバー：2名）
  6. 施設運営方針：
    - \*小規模を活かし、家庭的な施設を目指します。
    - \*利用者の在宅生活が継続できるよう日中の生活を支援します。
- (1) 従業員の心身の健康を守ります。
    - ・スタッフ体制を整え、業務の分担を行い過度な労働にならないように努めます。
    - ・引き続き、スタッフの新規採用を行います。
    - ・年1回の健康診断を実施します。
  - (2) 安定した事業運営を目指します。
    - ・地域密着型通所介護サービスとなり年2回の運営推進会議を通して、さらに地域にねざした事業の運営を目指します。
    - ・家庭的な雰囲気の中で楽しいおしゃべりやオリジナリティー溢れたレクリエーション、美味しい食事などの特徴を生かし、営業活動に力を入れます。
    - ・予防通所介護相当サービスとして、要支援の方の受け入れをしていきます。
    - ・制度の新しい情報を正しく共有しながら、事業運営をしていきます。
  - (3) 利用者及び家族の意向を反映し、個別ニーズの把握をします。
    - ・ケアマネージャーとの連携をすすめ、状態変化等の報告を迅速にします。
    - ・利用者アンケートや文化祭（交流会）を実施し、サービスの満足度や要望などの確認を行い、利用者や家族との交流を深めます。
    - ・近隣の外出企画をたて、実施します。
    - ・日々のプログラムの充実を図り、皆で喜びを共有できる場を多く設けます。
    - ・利用者さんと共に季節のおやつ作りを実施します。
    - ・時間延長の受け入れ体制を作り、本人及び家族介護者の支援をします。
  - (4) 職員間の連携を図り、サービスの向上に努めます。
    - ・日々の記録や、毎月の職員会議の充実を図り、職員の連携に努めます。
    - ・新人スタッフとの連携やコミュニケーションを深めていきます。
    - ・ひやりはっとを見落とさずに報告し、スタッフ全員で共有して再発防止に努めます。
    - ・サービス提供内のスタッフ配置が少ない時間帯ができることから、事故防止対策をしっかりと立てて、工夫を図り対応します。
    - ・各職種のスタッフが参加できる研修を行い、その成果を日々の業務に活かしていきます。
  - (5) 栄養管理を行い、食を通じた刺激を提供します。
    - ・低栄養リスクを考え、バランスのとれた献立作成を行います。
    - ・季節の素材を取り入れ、個別対応及び病態による対応をします。
    - ・誕生会メニューや行事メニューを取り入れます。
  - (6) 安全衛生管理を行います

- ・手洗い・うがいを徹底し感染予防に努めます。
  - ・食品等の衛生管理に努め、定期的な検便を実施します。
- (7) 災害対策を行います
- ・避難訓練を、年2回実施します。
  - ・毎月の職員会議で、災害時対応の確認をします。
- (8) 地域社会との連携を行います。
- ・利用者のニーズに応え地域や他団体との交流を深め、学生やボランティアの受け入れを積極的に行ないます。
- (9) 安全な施設管理に努めます。
- ・年2回の大掃除を実施し、日頃できない部分の片づけを行い、危機管理に努めます。
  - ・施設内外の日々の掃除や片付け、管理を徹底します。

2016 年度方針

【目的】

- 1、地域の人たちが昔の縁側のように気軽に立ち寄れる交流の場とします。
- 2、はちバスの時間に合わせ毎月/1回催し物を開催し、多世代の交流の場とし、会員を増やしていきます。
- 3、公的サービスだけではニーズが満たされない高齢者の行き場として居場所を開放し、特技を生かしてもらいます。
- 4、職員の交流の場、特技を生かす場所として活用します。

・収入目標 **680,000 円** 内訳

\*1ヶ月あたり

ランチ	@500×5人×6日	15,000円
飲み物・ケーキ	@200×4人×5日×4.3	18,000円
ワンコインコンサート	@500×30人	15,000円
場所貸し	@500×5件	2,500円
企画参加費	@200×10人	2,000円
小物		1,000円
合計		53500円

\*バザー収益金 8,000×3回 24,000円

- ・目的に沿った活動を進めていきます。
- ・居場所の運営にメンバーの一層のかかわりを深めていきます。
- ・大人の布遊び、ワンコインコンサートの開催を継続します。また子ども向けの企画を行い、子どもが気軽に立ち寄れる場としていきます。
- ・男性向けの企画を開催し、多様な人材発掘の場としていきます。
- ・地域のセンターまつり、文化祭のバザー、いちようまつりに出店、また各種助成金を利用し運営資金の一部とします。

4) 2016 年度活動予算書 (案)							
							(単位:円)
	収益事業				本来事業	総務 ・ 共通	総合計
	居宅部門	通所部門	ホームヘル プ部門	収益事業計	居場所		
<b>I. 経常収益</b>							
事業収益	15,514,128	23,820,000	24,420,000	63,754,128	680,000		64,434,128
正会員受取会費						135,000	135,000
賛助会員受取会費						10,000	10,000
受取寄付金							0
受取助成金					150,000	40,000	190,000
<b>経常収益計</b>	<b>15,514,128</b>	<b>23,820,000</b>	<b>24,420,000</b>	<b>63,754,128</b>	<b>830,000</b>	<b>185,000</b>	<b>64,769,128</b>
<b>II. 経常費用</b>							
<b>1. 事業費</b>						<b>2. 管理費</b>	
<b>(1) 人件費</b>							
給料手当	9,807,600	13,950,000	14,630,000	38,387,600	470,000	5,210,000	44,067,600
処遇改善金		420,000	1,000,000	1,420,000			1,420,000
法定福利費	1,270,000	1,284,000	1,574,000	4,128,000		340,000	4,468,000
福利厚生費	24,000	52,000	47,000	123,000			123,000
通勤費	163,200	351,200	176,400	690,800		265,600	956,400
労働保険料						460,000	460,000
役員報酬						140,000	140,000
<b>(2) その他経費</b>							
ケア交通費			520,000	520,000			520,000
ガソリン・駐車代	248,000	320,000	325,000	893,000			893,000
車両費 (点検)		140,000		140,000			140,000
材料費		1,050,000		1,050,000	300,000		1,350,000
消耗品費		280,000	125,000	405,000	30,000	130,000	565,000
保守料				0		106,400	106,400
リース代	644,184	262,836	610,164	1,517,184		450,000	1,967,184
水道光熱費		432,000		432,000	80,000	340,000	852,000
通信費	210,000	90,000	116,000	416,000	36,000	420,000	872,000
印刷代				0		260,000	260,000
研修費				0		20,000	20,000
新聞図書費	10,000			10,000			10,000
諸会費	10,000	13,600	13,000	36,600	4,800	22,000	63,400
支払手数料			60,000	60,000		60,000	120,000
会議費				0		10,000	10,000
会員活動費				0		100,000	100,000
広報費				0		24,000	24,000
保険料		127,000		127,000			127,000
火災保険料		35,540		35,540	27,000		62,540

ACT 包括保険料				0		270,000	270,000
支払報酬				0	60,000	129,600	189,600
減価償却費		160,095		160,095		8,174	168,269
地代家賃・駐車代	120,000	1,719,240	168,000	2,007,240	351,000	1,336,284	3,694,524
租税公課		50,000		50,000		500	50,500
雑費・交際費				0	25,000	10,000	35,000
ACT 分担金				0		370,000	370,000
予備費				0		100,000	100,000
<b>経常費用計</b>	<b>12,506,984</b>	<b>20,737,511</b>	<b>19,364,564</b>	<b>52,609,059</b>	<b>1,383,800</b>	<b>10,582,558</b>	<b>64,575,417</b>
<b>当期経常増減額</b>	<b>3,007,144</b>	<b>3,082,489</b>	<b>5,055,436</b>	<b>11,145,069</b>	<b>-553,800</b>	<b>-10,397,558</b>	<b>193,711</b>

### 第3号議案 職員代表選出の件

井下 美智子 (2016. 6. 1～2017. 5. 31)

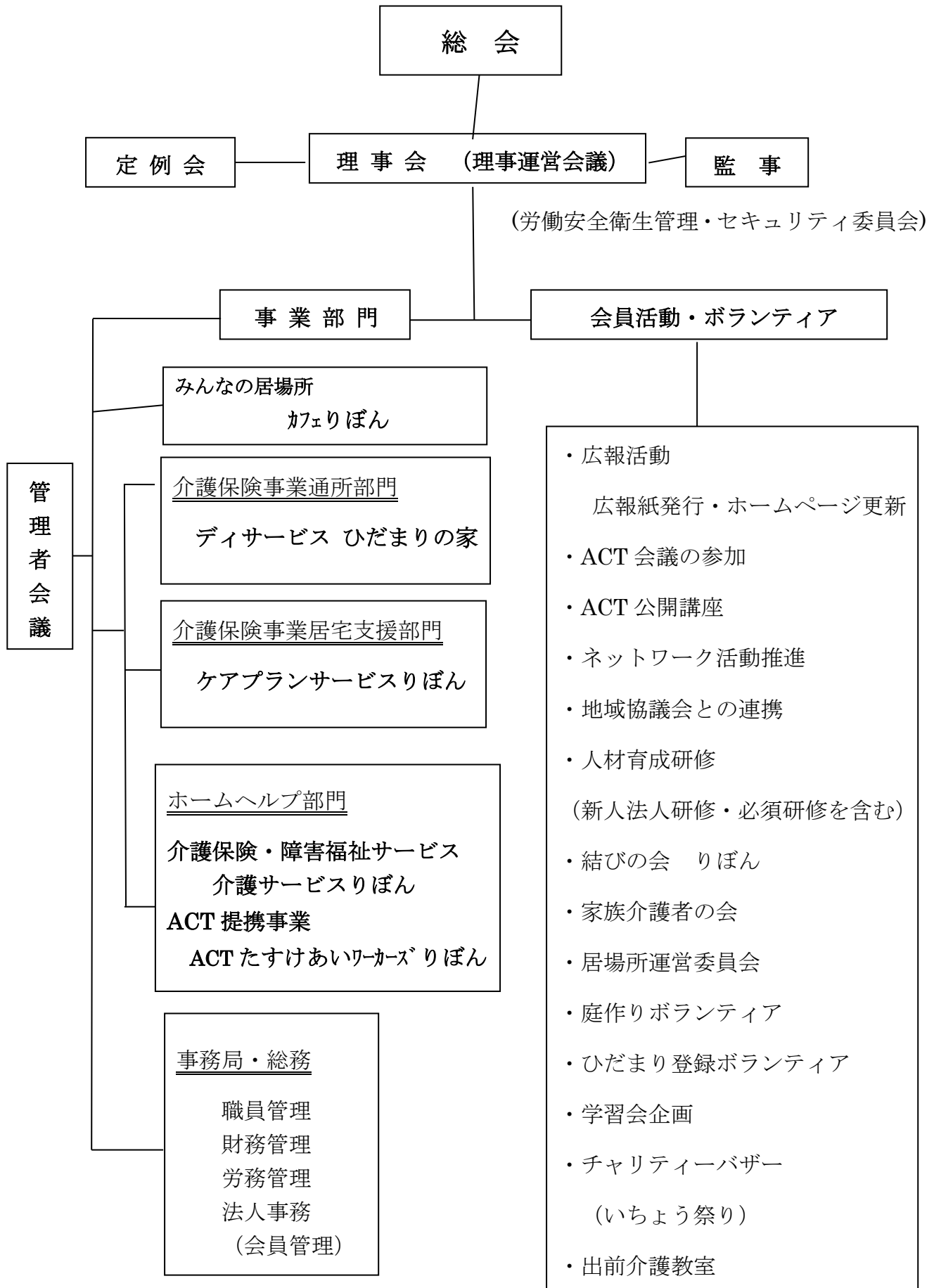
### 第4号議案 代表理事報酬の件

代表理事報酬月額 10,000 円とする。

ただし、別途職員としての業務に対し給与等を

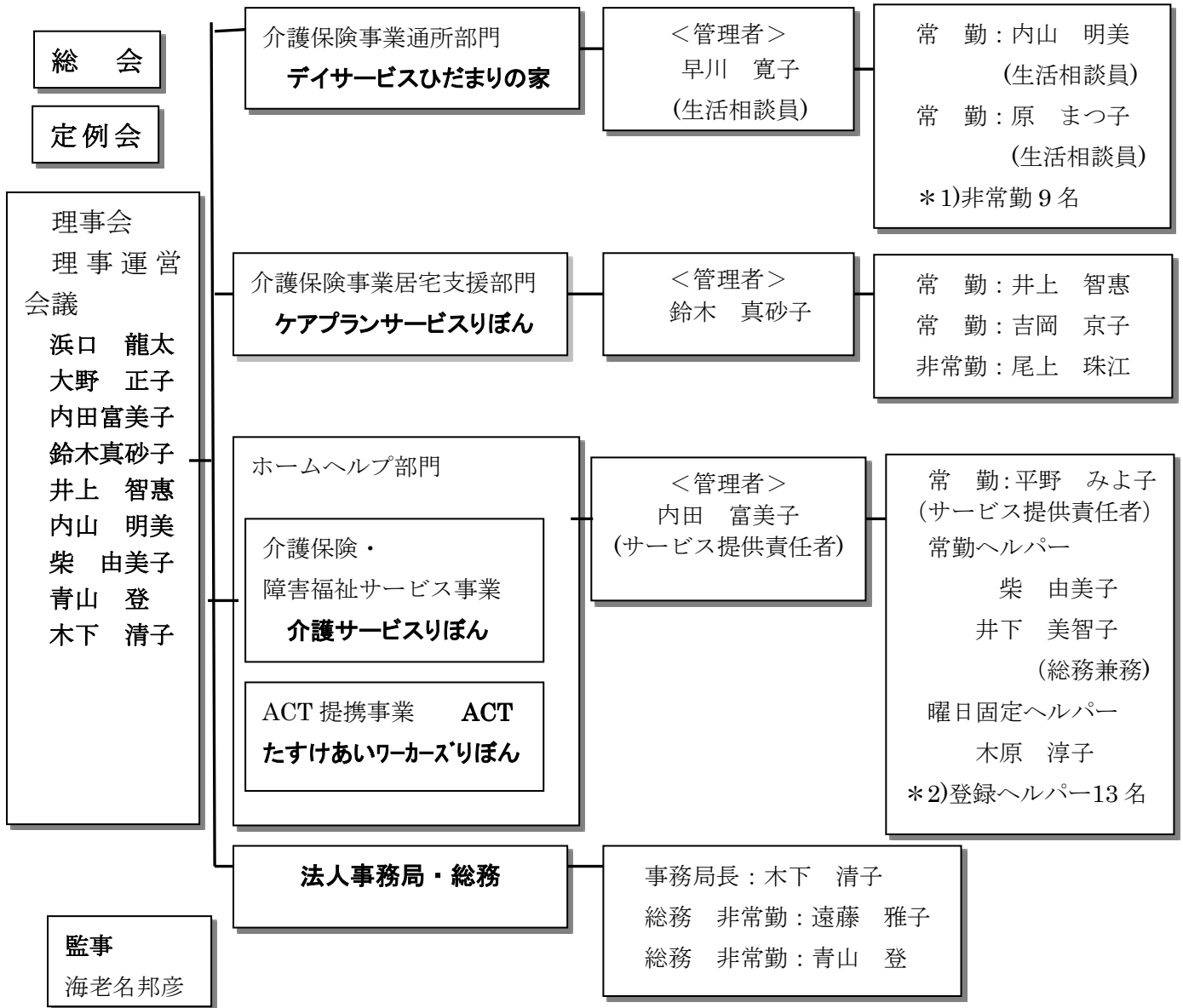
支給することを妨げない。





# 2016 年度 人事組織図

2016. 5. 1 現在



\* 1) ひだまりの家 非常勤：

伊藤由紀、加藤ゆみ子、清水久子、奈良倫子、西田正孝、宮島昌子、森田やす子、山口卓三、木下清子

講師： 荒井恵子、鈴木利子、山本道子

\* 2) 訪問登録ヘルパー：

指宿恵美子、大田和美、小川真由美、小沢享子、小澤祐希枝、白ヶ澤幸一、反町昌子、谷口由美、田野倉裕子、土橋慶子、濱中恭子、藤原美知子、木下清子